

新年おめでとうございます。第3学期の始業式も全児童139名、欠席も無く、校内テレビ放送で行うことができました。関東地方で新型コロナウイルス感染拡大で非常事態宣言が発出されるなど、心配なことが多いなか、私たちもより一層の感染予防対策に留意しながら、子供たちの「学びや生活の質」の向上に全力を尽くすつもりです。今年もご家庭・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

昨年末の給食がない日に6年生が、家庭科学習として「お弁当を自作する日」がありました。どの子も工夫して、おいしそうなお弁当を作ってきました。前の日から準備した子、早起きして作った子…、「自分で作るのは大変。おうちの人に作ってもらいたい。」という声も多かったようです。朝の忙しいときに台所をウロチョロされたり、結局お手伝いさせられたりして、ご迷惑をかけたかもしれません。でも、子供たちは、おうちの方の手際の良さや作ってくれることへの感謝をあらためて感じたようです。

今、中学校では家庭科は「男女共修」ですが、私たちの世代は「男子は技術科・女子は家庭科」でした。掃除・洗濯・調理…は女性の仕事という性別による役割分担が当たり前の感覚の時代を引きずって、私も家事は妻任せ。浴槽洗いや週1回くらいの洗濯作業、布団干しくらい…小学生並みですね。

長瀬小では「SDG'S（持続可能な開発目標）」の学習を取り入れています。その中には「ジェンダーフリー（男女平等）」の目標もあります。子供たちが大人になる頃には、家事についての意識もかなり変わっているんだろうなあと感じさせられました。